

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>〔基礎〕 年度当初に主要国や大陸名を確認し、地図を読む上で最低限必要な地理的知識を身に付けさせる。この評価は毎授業ごとに行う国名テストによって行う。 30 国程度の主要国を答えさせるテストで、20 点以上取れるように 1 学期中に指導する。</p> <p>〔地図、図法〕 正距方位図法やメルカトル図法などの主要な図法を確認し、その特徴を理解させる。また、GIS や GPS などの単語について解説を加え、現代におけるデジタル地図の役割について、実際に ICT 機器を活用させながら理解させる。</p> <p>〔国家の結びつき〕 国家の結びつきに関しては、NAFTA、EU、ASEAN、EU、OPEC、MERCOSUR、CIS の結合について解説し、主な構成国を理解させる。また、それぞれの結合を GNI や人口、貿易額などで比較し、その特徴の読み取りが出来るよう指導する。最後にセンター試験の簡単な問題を紹介し、活動への積極性や授業中の発言、結合の種類を判別できるかで評価をわけける。</p> <p>〔日本の位置、領域〕 日本の南端、東端の島や隣国との境界となっている島の位置を確認し、名前を的確に答えられるように指導し、評価につなげる。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p>	<p>生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p>	<p>各課題の学習時、生徒の普段の生活と関連付けて授業展開し、発言の積極性を元に評価する。</p> <p>既習範囲である図法や時差だけではなく、様々な主題図を理解させる。また、アナログ地図とデジタル地図の違いを明確にし、実際にレイヤー構造を用いたアナログ地図を製作してみる。レイヤー構造が作図に与えた影響やデジタル地図の発展を理解させ、活動への積極性で評価を行う。</p> <p>また、地形図の基本的な知識の習得や読み取りを行い、地形図上で小地形の読み取りも出来るように学習をすすめ、地形図の学習がすべて終わった時点での小テストで、地図記号の読み取りや小地形の判別により評価を行う。</p> <p>[自然環境と防災] 自然環境の単元において、日本各地の地形・気候を学習させ、そこから引き起こされる自然災害を、過去に起こった大地震のメカニズムとともに学習させる。特に、プレートの位置と動きにポイントを置いて理解させ、現在日本のどこの危険性が高いか、現在東京都で行われている対策は何か、自分たちで出来ることに何があるのか学習させる。</p>

学習指導要領	都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査</p> <p>生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[地図、図法、地域調査]</p> <p>地図の単元において、立川市周辺のコンビニエンスストアの位置を調査し、アナログ地図上に図示させ、その分布の傾向を読み取る学習を行う。その作業を通して地図の作成能力を身に付けさせ、商圈の拡大や業者間の競争などを読み取る考察力を養う。また、アナログ地図とデジタル地図の違いについても理解を深めさせる。</p> <p>評価は作業への積極性及び、読み取り中の発言などにより行う。</p>

